

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【公開番号】特開2001-101401(P2001-101401A)

【公開日】平成13年4月13日(2001.4.13)

【出願番号】特願平11-282054

【国際特許分類第7版】

G 0 6 T 5/00

H 0 4 N 1/407

H 0 4 N 9/64

【F I】

G 0 6 F 15/68 3 1 0 J

H 0 4 N 9/64

H 0 4 N 1/40 1 0 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月2日(2003.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された画像データに対して所定の補正を行い、補正後の画像データを出力する画像補正装置であって、

前記画像データ所定成分について、所定代表値を求める代表値取得手段と、

前記所定代表値との差分に基づいて前記画像データを2つの群に分割し、前記画像データの特徴を表す特徴データを生成する特徴データ生成手段と、

前記特徴データに基づき、前記画像データの所定成分に対する補正係数を生成する補正係数生成手段と、

前記補正係数に前記所定成分を補正した前記画像データを、前記補正後の画像データとして出力する画像データ補正手段とを有することを特徴とする画像補正装置。

【請求項2】

前記所定成分が輝度成分であり、前記特徴データが前記画像データの明るさを表すデータであることを特徴とする請求項1記載の画像補正装置。

【請求項3】

前記特徴データ生成手段が、前記画像データの前記所定成分のハイライトポイント、シャドウポイントを求め、前記代表値と前記ハイライトポイントとの差分DBと、前記代表値と前記シャドウポイントとの差分DAとの比 DA/DB を前記特徴データとして生成することを特徴とする請求項1または請求項2記載の画像補正装置。

【請求項4】

前記代表値取得手段が、前記画像データ所定成分の積分値に基づいて前記所定代表値を求めることを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の画像補正装置。

【請求項5】

前記補正係数生成手段が、

予め定められた関係に従って、前記特徴データに応じた前記補正の程度を取得し、前記補正の程度によって前記補正係数を算出することを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか1項に記載の画像補正装置。

【請求項 6】

入力された画像データに対して所定の補正を行い、補正後の画像データを出力する画像補正方法であって、
前記画像データ所定成分について、所定代表値を求める代表値取得ステップと、
前記所定代表値との差分に基づいて前記画像データを2つの群に分割し、前記画像データの特徴を表す特徴データを生成する特徴データ生成ステップと、
前記特徴データに基づき、前記画像データの所定成分に対する補正係数を生成する補正係数生成ステップと、
前記補正係数に前記所定成分を補正した前記画像データを、前記補正後の画像データとして出力する画像データ補正ステップとを有することを特徴とする画像補正方法。

【請求項 7】

前記所定成分が輝度成分であり、前記特徴データが前記画像データの明るさを表すデータであることを特徴とする請求項 6 記載の画像補正方法。

【請求項 8】

前記特徴データ生成ステップが、前記画像データの前記所定成分のハイライトポイント、シャドウポイントを求め、前記代表値と前記ハイライトポイントとの差分 DB と、前記代表値と前記シャドウポイントとの差分 DA との比 DA/DB を前記特徴データとして生成することを特徴とする請求項 6 または請求項 7 記載の画像補正方法。

【請求項 9】

前記代表値取得ステップが、前記画像データ所定成分の積分値に基づいて前記所定代表値を求めることを特徴とする請求項 6 乃至請求項 8 のいずれか 1 項に記載の画像補正方法。

【請求項 10】

前記補正係数生成ステップが、
予め定められた関係に従って、前記特徴データに応じた前記補正の程度を取得し、前記補正の程度によって前記補正係数を算出することを特徴とする請求項 6 乃至請求項 9 のいずれか 1 項に記載の画像補正方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

【従来の技術】

イメージスキャナやデジタルカメラ等で読み込んだ画像データを補正する場合、従来は所謂レタッチソフト等の画像編集アプリケーションソフトウェアを用い、表示された画像を目視して画像の傾向を判断し、対応した補正を手作業で指定し、かつ補正の程度もトライアンドエラーにより補正後の画像を目視で確認しながら行っていた。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】